

企業短期経済観測調査（道北[※]地域分）
（調査対象企業数：道北[※]38社）

※上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内
回答社数構成比 %ポイント
()内は前回調査時予測

(判断D. I.)

	2023/6月	9月	12月	2024/3月	6月	9月	2024/12月 までの予測
業況判断 < 良 - 悪 >	8	5	3	6	11	(2) 16	0
うち製造業	12	25	0	13	13	(25) 0	0
非製造業	6	0	3	3	10	(-3) 20	0
国内での製商品・サービス需給 < 需要超過 - 供給超過 >	-12	-18	-16	-11	-6	(-6) -6	-3
製商品在庫水準 < 過大 - 不足 >	3	4	14	4	0	7	
生産・営業用設備 < 過剰 - 不足 >	-2	0	0	0	0	(-2) -2	-2
雇用人員 < 過剰 - 不足 >	-48	-42	-47	-45	-50	(-61) -45	-55
資金繰り < 楽である - 苦しい >	18	15	16	13	15	13	
金融機関の貸出態度 < 緩い - 厳しい >	17	20	20	29	23	23	
借入金利水準 < 上昇 - 低下 >	3	0	3	6	29	(32) 50	53
販売価格 < 上昇 - 下落 >	27	18	13	18	31	(40) 27	29
仕入価格 < 上昇 - 下落 >	55	50	50	63	58	(61) 50	55

(注) 2024/3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

(事業計画)

全産業、前年度比%、
< >内は前回調査比修正率%

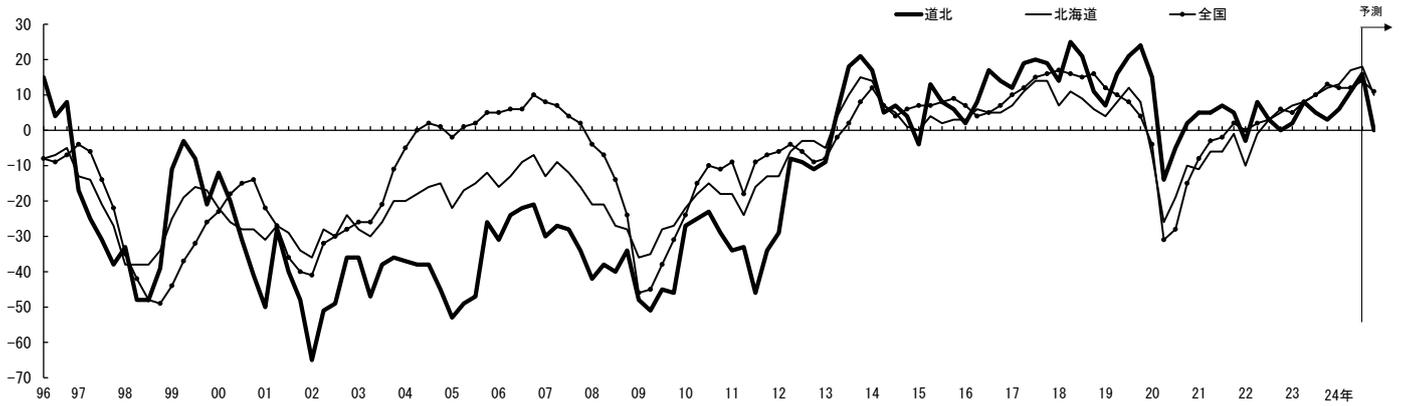
	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画			
			上期		下期	
売上高	5.8	-0.2	-5.1 < 1.2 >	-0.6 < 1.9 >	-8.9 < 0.5 >	
経常利益	-20.3	3.3	-35.8 < -32.5 >	-38.1 < -5.9 >	-33.7 < -45.6 >	
当期純利益	-28.3	22.9	-37.7 < -40.0 >	-45.2 < -6.8 >	-29.4 < -54.3 >	
設備投資額	14.1	43.1	-9.1 < 0.9 >			

(注) 2023年度以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

2023年度の前回調査比修正率は、調査対象企業見直し後の再集計値との比較。

2024年9月短観・調査結果

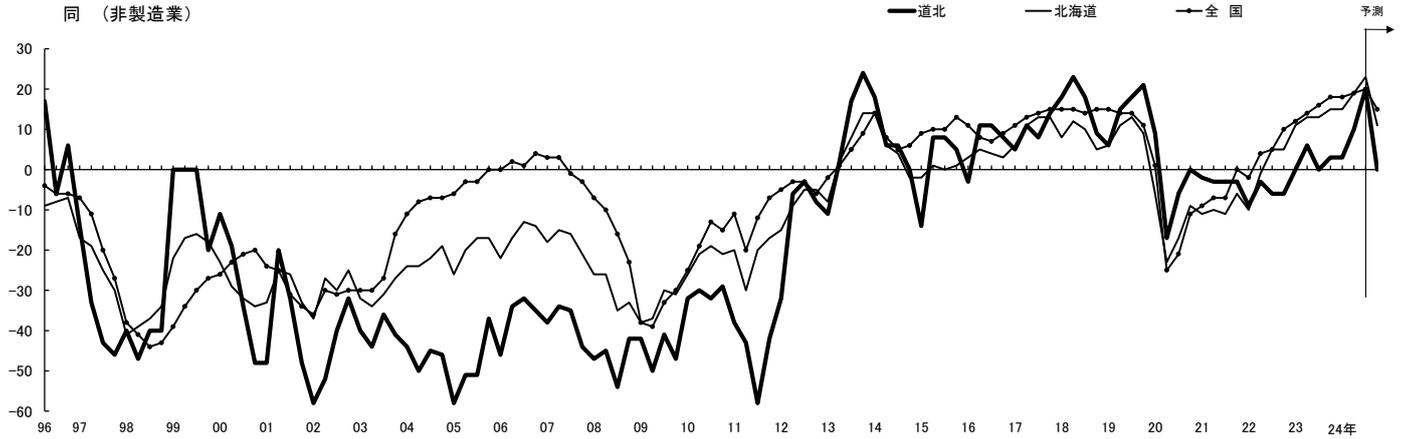
業況判断D. I. (「良い」-「悪い」、%ポイント)



同 (製造業)



同 (非製造業)



(注) 道北は、上川、宗谷、オホーツク総合振興局管内。
2024年3月以降は、調査対象企業見直し後の新ベース。

道北地域の企業短期経済観測調査結果（2024年9月）の概要

- 調査対象企業数：道北地域 38 社（製造業 8 社、非製造業 30 社）
- 回答率 100.0%（有効回答社数 38 社）
- 回答期間：2024年8月27日～9月30日

1. 業況判断 DI

- 9月の業況判断 DI（全産業ベース、DI：%ポイント<以下同じ>）は、+16 となり、前回 6 月調査に比べて改善した（前回+11、前回比+5）。
 - 製造業の業況判断 DI は、0 と前回調査比悪化した（同+13、同-13）。
 - 非製造業の業況判断 DI は、+20 と前回調査比改善した（同+10、同+10）。
- 先行きの業況判断 DI は、悪化を見込み、0 との予測（9 月実績+16⇒12 月までの予測 0）。
 - 製造業は横ばい（同 0⇒0）を見込み、非製造業は悪化（同+20⇒0）を見込む。

2. 各種判断 DI

- 「製商品・サービス需給判断 DI<需要超過－供給超過>」（前回調査-6⇒今回調査-6）は、横ばいとなった。
- 「製商品在庫水準判断 DI<過大－不足>」（同 0⇒+7）は、過大超に転化した。
- 「生産・営業用設備判断 DI<過剰－不足>」（同 0⇒-2）は、不足超に転化した。
- 「雇用人員判断 DI<過剰－不足>」（同-50⇒-45）は、不足超幅が縮小した。
- 金融環境についてみると、「資金繰り判断 DI<楽である－苦しい>」（同+15⇒+13）は、楽である超幅が縮小したほか、「金融機関の貸出態度判断 DI<緩い－厳しい>」（同+23⇒+23）は、横ばいとなった。この間、「借入金利水準判断 DI<上昇－低下>」（同+29⇒+50）は、上昇超幅が拡大した。
- 価格面についてみると、「仕入価格判断 DI<上昇－下落>」（同+58⇒+50）、販売価格判断 DI<上昇－下落>」（同+31⇒+27）は、ともに上昇超幅が縮小した。

3. 事業計画

- 2024年度の計画は、売上高は前年度比－5.1%、経常利益は同－35.8%、当期純利益は同－37.7%、設備投資額は同－9.1%となっている。売上高、設備投資額は上方修正されたが、経常利益、当期純利益は下方修正された。

以 上